

庄内麦情報

第2号

令和3年4月19日

庄内総合支庁 産業経済部

農業技術普及課

TEL (0235) 64-2103

FAX (0235) 64-2104

遅れずに赤かび病防除をしよう！

今年度の麦の出穂期（圃場全体の40～50%の穂先が抽出した日）は平年並の見込みです。

気象庁の2週間予報によると、今後の気温は平年並～高い予報です。気温が高い日が続くと出穂期が予測よりも早まるので、圃場をよく確認して適期に赤かび病の防除を行いましょう。

防除の適期は①開花期（出穂期の5～7日後）、②1回目防除の7～10日後が適期です。

表1 4月13日の麦の生育状況及び赤かび病防除適期の目安

品種	草丈 cm	幼穂長 mm	令和3年の出穂期 (予測日)	平年の 出穂期	令和3年の赤かび病防除適期の目安	
					1回目	2回目
大麦 (シュンライ)	51	30	4月22日頃	4月24日	4月27日 ～4月29日	1回目防除の 7～10日後
小麦 (ゆきちから)	22	3	5月10日頃	5月13日 (指標値)	5月15日 ～5月17日	

(大麦:三川町土口、小麦:羽黒町手向、普及課調べ)

表2 出穂期までの日平均気温の積算値(℃)

幼穂長 mm	大麦 (出穂前日数)	小麦 (出穂前日数)
1.0	402(34)	443(37)
5.0	258(22)	302(25)
10.0	196(17)	241(20)
20.0	134(12)	180(15)
30.0	98(9)	145(12)
40.0	72(6)	119(10)

圃場ごとの生育状況や今後の気象により出穂期は前後します。

実際に幼穂長を測り、表2を参考にして圃場ごとの出穂予測日を確認しましょう。

※出穂前日数は、4月下旬の平均気温（平年値、12.1℃）で推移した場合の日数

小麦

減数分裂期以降の追肥

「ゆきちから」では、強力粉として適正なタンパク質含有率(11.5~13.0%)の確保及び増収を目的として追肥を行います。

なお、「ナンプコムギ」は、この時期の追肥は倒伏につながるため行いません。

減数分裂期

出穂 8~10 日前の葉耳間長±0cm の株が圃場の 50%となった時期(幼穂長 30~50mm)に窒素成分 2kg/10a の追肥を行います。

穂揃期

およそ 80%の穂が出た日を穂揃期といい、この頃に草丈 90cm 以下かつ止葉の葉色 44 (SPAD) 以下の場合、窒素成分 2kg/10a の追肥を行います。

表3 減数分裂期以降の基準施肥量

品種	減数分裂期	令和3年の 減数分裂期追肥の目安	穂揃期	
	Nkg/10a		Nkg/10a	施肥時の生育
ゆきちから	2.0	4月30日 ~5月2日	2.0	草丈90cm以下かつ 葉色44(SPAD)以下

春季農作業事故防止運動実施中！

4月10日~6月10日

安全キャブ・フレーム

反射板

低速車マーク

あぐりん(やまがたアグリネット)で最新情報入手！

PCやスマートフォンから、作物別・地域別のタイムリーな技術情報・病害虫・防除・農薬情報をご覧になれます！

